

平成17年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

上場会社名 富士電機ホールディングス株式会社 平成17年 1月 27日
 コード番号 6504 (URL <http://www.fujielectric.co.jp>) 上場取引所 東大名福
 代表者 役職・氏名 取締役社長 沢 邦彦 本社所在都道府県 東京都
 問合せ責任者 役職・氏名 財務部長 松本 淳一 TEL (03) 5435-7232

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有 (固定資産の減価償却の方法や法人税等の計上基準などについて一部簡便的な方法を採用しております。)
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 連結子会社数 61社 (平成16年9月期末と同じ)
 持分法適用会社数 2社 (平成16年9月期末と同じ)

2. 平成17年 3月期第3四半期の財務・業績の概況 (平成16年 10月 1日 ~ 平成16年 12月 31日)

(1) 連結経営成績

(注) 本決算短信の金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		当期(四半期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第3四半期	173,524	1.9	4,594	-	4,903	-	2,512	-
16年3月期第3四半期	170,351	1.6	8,539	-	9,128	-	5,513	-
(参考)16年3月期	856,198		17,447		13,928		5,519	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益
	円 銭	円 銭
17年3月期第3四半期	3.51	-
16年3月期第3四半期	7.71	-
(参考)16年3月期	7.46	-

(注) 売上高、営業利益、経常利益、当期(四半期)純利益におけるパーセント表示は、対前年同期増減率

(2) 連結財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第3四半期	891,830	181,582	20.4	253.86
16年3月期第3四半期	896,643	168,424	18.8	235.40
(参考)16年3月期	908,060	191,774	21.1	267.80

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第3四半期	6,165	3,611	5,984	20,758
16年3月期第3四半期	290	3,713	12,356	17,488
(参考)16年3月期	66,468	21,924	76,808	27,240

3. 平成17年 3月期の連結業績予想 (平成16年 4月 1日 ~ 平成17年 3月 31日)

	予想売上高	予想営業利益	予想経常利益	予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
通期	840,000	25,500	20,500	8,000

	1株当たり予想 当期純利益
	円 銭
通期	10.93

(注) 上記の予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の4ページを参照して下さい。

平成 16 年度第 3 四半期の連結業績概況

経 営 成 績

当第 3 四半期における富士電機グループを取り巻く経営環境は、牽引役であるデジタル情報家電関連市場の生産調整など、一部の業種において景況感の悪化が見られましたが、国内民間設備投資は緩やかな増加傾向を続け、総じて堅調に推移しました。

このような状況のなか、当社グループの連結売上高は、前年同期比 1.9% 増の 1,735 億円となりました。部門別には、器具分野、駆動制御分野ともに好調に推移した「機器・制御」部門、ディスク媒体分野および半導体分野が伸長し、画像デバイス分野の減少を補った「電子デバイス」部門、たばこ自動販売機の大型受注に加え、新紙幣発行により自動販売機および通貨関連機器が大幅に伸長した「リテイルシステム」部門の各事業部門で前年同期を上回りました。一方、「電機システム」部門は、発電プラント分野の大口径案件の減少などにより前年同期を下回りました。なお、「その他」部門は、富士物流(株)が持分法適用会社になった影響により減少しました。

損益面では、売上高の増加に加えて、コストダウンおよび経費削減の努力が奏効し、営業損益は 45 億 94 百万円（対前年同期 + 39 億 45 百万円）、経常損益は 49 億 3 百万円（同 + 42 億 25 百万円）、当期純損益は 25 億 12 百万円（同 + 30 億 1 百万円）と前年同期に対して大幅な改善を図ることができました。

営業損益は、部門別には、「電機システム」部門は、発電プラント分野で大口径案件の計上がなかったことにより悪化したものの、情報システム事業の構造改革を進めてきた e - ソリューション分野の大幅な改善により赤字額が縮小しました。「機器・制御」部門は、売上高の増加に加え、コストダウン、経費削減、および損益重視の営業活動の推進により、器具分野、駆動制御分野の両分野とも大幅な増益となりました。「リテイルシステム」部門は、自販機・フード・通貨機器分野において、前掲の売上高の増加に加え、コストダウン、経費削減の効果もあり、前年同期の赤字を脱却し黒字となりました。他方、コールドチェーン機器分野は競争激化により悪化しましたが、リテイルシステム部門全体では大幅な改善となりました。一方、「電子デバイス」部門は、半導体分野の価格下落および固定費増、ディスク媒体分野における為替影響およびガラス媒体の立ち上げに伴う費用増、画像デバイス分野の欧州市場での価格下落などがあり、減益となりました。

なお、9 ヶ月累計では、売上高は、「電機システム」、「機器・制御」、「電子デバイス」、「リテイルシステム」の各事業部門で前年同期を上回りましたが、「その他」部門は減少し、全体では前年同期比 3.8% 増の 5,377 億円となりました。営業損益は、「電子デバイス」および「その他」部門が減益となった一方、「機器・制御」および「リテイルシステム」部門は大幅に増益となり、「電機システム」部門は赤字額が縮小した結果、前年同期に対して 60 億 11 百万円好転の 105 億 68 百万円となりました。経常損益は 126 億 57 百万円（対前年同期 + 59 億 3 百万円）、当期純損益は 77 億 23 百万円（同 + 59 億 98 百万円）となりました。

【セグメント別状況】

〈電機システム〉

当部門の売上高は前年同期比 9.3% 減の 560 億円となり、営業損益は前年同期に対して 10 億 90 百万円好転の 79 億 41 百万円となりました。

e - ソリューション分野では、放射線管理施設向け大口径案件などが売上増に貢献したものの、情報システムの大口案件が減少した結果、売上高は前年同期を下回りました。営業損益は、プロジェクト管理の推進およびコストダウン施策により大幅に改善しました。

環境システム分野では、公共投資の圧縮など市場環境は依然として厳しいながらも、浄水場向け高度浄水施設電気設備の大口案件などで実績を挙げ、売上高は前年同期に比べ微増となり、営業損益は若干改善しました。

産業・交通システム分野では、民間設備投資の増加を背景に、海外向け変圧整流設備やクリーンルーム設備向け電気品などが売上増に貢献した結果、売上高は前年同期を上回りましたが、営業損益は前年同

期並となりました。

発電プラント分野では、海外向け蒸気タービン発電機設備および原子力関連施設向け案件など、大口案件の減少により売上高は前年同期を大幅に下回り、営業損益も悪化しました。

工事部門では、中小口案件の増加を背景に、売上高は前年同期を大幅に上回りましたが、営業損益は市場競争激化の影響を受けて前年同期並となりました。

なお、9ヶ月累計では、売上高は、発電プラント分野が前年同期を大きく下回り、e-ソリューション分野および環境システム分野も減少した一方で、産業・交通システム分野および工事部門が増加した結果、前年同期比2.2%増の1,899億円となりました。営業損益は、環境システム分野、発電プラント分野および工事部門で悪化しましたが、e-ソリューション分野の大幅な改善により前年同期に対して6億29百万円改善し、243億77百万円となりました。

〈機器・制御〉

当部門の売上高は前年同期比4.2%増の431億円となり、営業利益は同23.6倍の17億21百万円（前年同期73百万円）となりました。

器具分野では、工作機械を中心とした機械工業向け需要が好調であり、電磁開閉器やブレーカなど主要製品の売上が伸長しました。新製品では計測表示機能付きブレーカを発売し、エネルギー監視ユニット等と組み合わせ、エネルギー監視システムとして積極的な事業展開を図りました。この結果、当分野の売上高は前年同期を上回り、営業損益はコストダウン、経費削減などの原価低減の効果も加わり大幅に改善しました。

駆動制御分野では、国内市場では半導体・液晶製造装置分野などで需要が減少、海外市場では中国の金融引締めによる投資抑制の影響が見られたものの、国内市場では自動車や機械工業分野など主要業種で好調を維持しました。好調業種への積極的な販売、中国・無錫におけるインバータ生産拡大などを推進した結果、当分野の売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。

なお、9ヶ月累計では、器具分野、駆動制御分野ともに伸長した結果、売上高は前年同期比10.4%増の1,318億円となり、営業損益は同465.1倍の46億51百万円（同10百万円）となりました。

〈電子デバイス〉

当部門の売上高は前年同期比7.8%増の363億円となり、営業損益は、同58.7%減の10億34百万円（前年同期25億3百万円）となりました。

半導体分野では、産業分野向けは、パワーモジュール製品の在庫調整および発注調整の影響があったものの、売上高は伸長しました。自動車電装向けは、国内外における自動車販売が引き続き順調に推移したことにより、車載用MOSFETを中心に伸長しました。情報・電源機器向けは、顧客の生産調整の影響を受けて、プラズマディスプレイ用ICやMOSFETなどのデジタル情報家電向けを中心に低調に推移しました。この結果、当分野の売上高は前年同期を上回りましたが、営業損益は、市場競争激化による価格の下落、資本費および研究開発費を中心とした固定費の増加などがあり、前年同期を下回りました。

ディスク媒体分野では、第3四半期の業界全体のHDD出荷台数が対前年同期15%増と好調に推移した中、当社は3.5インチアルミ媒体を主力製品として生産設備のフル稼働により、四半期ベースでは過去最高の生産・出荷枚数を記録しました。また、昨年9月より開始したガラス媒体の出荷も順調に進み、売上高は前年同期を大幅に上回りました。他方、営業損益は、為替の影響に加え、ガラス媒体の立ち上げに伴う費用増により前年同期を若干下回りました。

画像デバイス分野では、主力である複写機・プリンタ用OPC（有機感光体）が搭載機種複合化、およびカラー化の進展による需要の拡大により、中国市場において伸長しましたが、欧州市場では競争激化により売上が減少、価格下落が継続し、当分野の業績に大きな影響を与えました。この結果、当分野の売上高は前年同期を下回り、営業損益は悪化し、赤字となりました。

なお、9ヶ月累計では、売上高は、画像デバイス分野が前年同期を下回りましたが、半導体分野およびディスク媒体分野が伸長し、前年同期比11.7%増の1,069億円となりました。営業損益は、ディスク媒体分野が改善したものの、半導体分野および画像デバイス分野が悪化した結果、同18.5%減の62億11百万円（同76億24百万円）となりました。

〈リテイルシステム〉

当部門の売上高は前年同期比 24.0%増の 411 億円となり、営業損益は、前年同期に対して 22 億 93 百万円好転の 7 億 17 百万円となりました。

自販機・フード・通貨機器分野では、自動販売機は、たばこ自動販売機の大型受注に加えて、新紙幣の発行が追い風となり自動販売機自体の更新需要も増加しました。通貨関連機器は、新紙幣に対応した紙幣識別装置の需要が増加したことに加え、レジヤ施設向けの貨幣処理システムも好調に推移しました。こうした需要の増加に対して、たばこ自動販売機と紙幣識別装置の生産能力増強、資材確保に全力をあげて取り組んだ結果、当分野の売上高は前年同期を大きく上回りました。営業損益は、売上高の増加に加え、コストダウン、経費削減などにより大幅に改善し、例年、季節要因により苦戦していた損益が黒字となりました。

コールドチェーン機器分野では、ユニット工法店舗「エコロユニット」およびサービス部門の伸長がありました。冷凍・冷蔵ショーケースは、スーパーマーケット市場での投資抑制、コンビニエンス市場での改装の需要減の影響により減少し、当分野の売上高は前年同期を下回りました。営業損益は、今後に向けての拡販施策に伴う経費の増加などもあり悪化しました。

なお、9ヶ月累計では、自販機・フード・通貨機器分野が好調に推移したことにより、売上高は前年同期比 11.5%増の 1,232 億円となり、営業損益も大幅に改善し、同 10.3 倍の 35 億 72 百万円（前年同期 3 億 46 百万円）となりました。

〈その他〉

当部門の売上高は、富士物流(株)が前期末に持分法適用会社となったことにより大幅に減少し、前年同期比 41.4%減の 88 億円となりました。営業損益は、前年同期に対して 1 億 73 百万円好転の 68 百万円となりました。

なお、9ヶ月累計では、売上高は前年同期比 38.8%減の 285 億円となり、営業損益は同 19.2%減の 7 億 2 百万円（前年同期 8 億 69 百万円）となりました。

財 政 状 態

当第 3 四半期末の総資産は 8,918 億円となり、当上半期末に比べ 408 億円増加しました。

資産の部においては、売上債権が減少する一方で、プラント品の売上が第 4 四半期末に集中することを主因として棚卸資産が 249 億円増加し、流動資産は 286 億円増加しました。また、その他有価証券の時価評価の増加を主因として投資その他の資産が 146 億円増加し、固定資産は 121 億円増加しました。

負債の部では、顧客からの前受金の増加、金融債務残高の増加、その他有価証券の時価評価の増加影響などに伴い、負債合計は 363 億円増加しました。

資本の部は、利益剰余金が 43 億円減少したものの、その他有価証券評価差額金が 95 億円増加した結果、当第 3 四半期末では 1,815 億円となり、資本合計は 46 億円増加しました。なお、株主資本比率は、総資産が増加したため、当上半期末に比べ 0.4%減少して 20.4%となりました。

また、当第 3 四半期のフリー・キャッシュ・フローは 25 億円の資金の増加（前年同期 40 億円の資金の減少）となりました。

以 上

平成 16 年度通期の連結業績見通し

通期の連結業績見通しにつきましては、売上高は、デジタル情報家電関連の生産調整に加え、産業分野向けの在庫調整により半導体分野が悪化している「電子デバイス」部門で前回（平成 16 年 10 月 28 日）発表の見通しを下回る見込みです。また、e-ソリューション分野および環境システム分野が減少する「電機システム」部門、国内における半導体・液晶製造装置分野などの減速や、中国の金融引締めの影響を受けている「機器・制御」部門でも前回見通しを下回る見込みです。一方、「リテイルシステム」部門は、たばこ自動販売機の大型受注、および改刷需要の前倒しで自動販売機と通貨関連機器が好調に推移し、前回見通しを上回る見込みです。この結果、全体としては前回見通しを 50 億円下回る見込みです。

営業損益は、売上高の減少により「機器・制御」、「電子デバイス」の両部門で前回見通しを下回る見込みですが、「リテイルシステム」部門は売上高の増加により前回見通しを上回る見込みです。全体としては変更ありません。

なお、当第 4 四半期の対米ドル為替円レートは 102 円 / ドルを前提としています（前回 105 円 / ドル）。

< 平成 16 年度連結業績見通し >

	16 年度			15 年度 実績
	前回発表 (10/28)	今回発表 (1/27)	差異	
売上高	8,450	8,400	50	8,561
営業利益	255	255	0	174
経常利益	205	205	0	139
当期純利益	80	80	0	55

< 連結部門別売上高 >

	16 年度			15 年度 実績
	前回発表 (10/28)	今回発表 (1/27)	差異	
電機システム	3,800	3,780	20	4,031
機器・制御	1,780	1,760	20	1,680
電子デバイス	1,460	1,420	40	1,296
リテイルシステム	1,580	1,650	+70	1,507
その他	450	450	0	757
消去	620	660	40	711
合計	8,450	8,400	50	8,561

< 連結部門別営業利益 >

	16 年度			15 年度 実績
	前回発表 (10/28)	今回発表 (1/27)	差異	
電機システム	35	35	0	5
機器・制御	77	70	7	23
電子デバイス	116	90	26	97
リテイルシステム	33	60	+27	20
その他	15	15	0	23
消去又は全社	21	15	+6	3
合計	255	255	0	174

注) 上記の業績見通しは、市場における当社製品の需給の急激な変動、米ドルを中心とした対円為替相場の変動、日本の株式相場の変動などにより、実際の業績と異なる場合があり得ることをご承知置き願います。

以上

平成16年度 第3四半期 連結決算概要

（単位：百万円）

	第3四半期（10月～12月）			9ヶ月累計（4月～12月）		
	平成16年度	平成15年度	前年同期比 （％）	平成16年度	平成15年度	前年同期比 （％）
売 上 高	173,524	170,351	102	537,764	518,326	104
営 業 損 益	4,594	8,539	-	10,568	16,579	-
経 常 損 益	4,903	9,128	-	12,657	18,560	-
当 期 純 損 益	2,512	5,513	-	7,723	13,721	-
1 株 当 たり 当 期 純 損 益	3円51銭	7円71銭	-	10円80銭	19円18銭	-

（注1）平成16年度第3四半期の連結子会社数は 61社（平成15年度第3四半期 59社）
平成16年度第3四半期の持分法適用会社数は 2社（平成15年度第3四半期 0社）

（注2）財務数値については監査対象外

比較連結損益計算書

【第3四半期】

(単位：百万円)

	16年度第3四半期 (16年10月～16年12月)		15年度第3四半期 (15年10月～15年12月)		増 減	前年同期比 (%)
		構成比(%)		構成比(%)		
売 上 高	173,524	100.0	170,351	100.0	3,173	101.9
売 上 原 価	139,693	80.5	140,245	82.3	552	99.6
売 上 総 利 益	33,831	19.5	30,105	17.7	3,726	112.4
販売費及び一般管理費	38,426	22.1	38,644	22.7	218	99.4
営 業 損 益	4,594	2.6	8,539	5.0	3,945	-
営 業 外 収 益	1,433	0.8	1,274	0.7	159	112.5
(受取利息・配当金)	(805)		(438)		(367)	
(雑 収 益)	(628)		(836)		(208)	
営 業 外 費 用	1,742	1.0	1,863	1.1	121	93.5
(支 払 利 息)	(720)		(684)		(36)	
(雑 支 出)	(1,022)		(1,179)		(157)	
経 常 損 益	4,903	2.8	9,128	5.4	4,225	-
特 別 利 益	456		171		285	
特 別 損 失	141		961		820	
税金等調整前当期純損益	4,588	2.6	9,918	5.8	5,330	-
法 人 税 等	1,848		4,006		2,158	
少 数 株 主 利 益	227		399		172	
当 期 純 損 益	2,512	1.4	5,513	3.2	3,001	-

比較連結損益計算書

【9ヶ月累計】

(単位：百万円)

	16年度9ヶ月累計 (16年4月～16年12月)		15年度9ヶ月累計 (15年4月～15年12月)		増 減	前年同期比 (%)
		構成比(%)		構成比(%)		
売上高	537,764	100.0	518,326	100.0	19,438	103.8
売上原価	434,600	80.8	424,847	82.0	9,753	102.3
売上総利益	103,164	19.2	93,478	18.0	9,686	110.4
販売費及び一般管理費	113,732	21.2	110,057	21.2	3,675	103.3
営業損益	10,568	2.0	16,579	3.2	6,011	-
営業外収益	4,038	0.7	4,302	0.8	264	93.9
(受取利息・配当金)	(2,060)		(1,411)		(649)	
(雑収益)	(1,978)		(2,891)		(913)	
営業外費用	6,127	1.1	6,284	1.2	157	97.5
(支払利息)	(2,258)		(2,474)		(216)	
(雑支出)	(3,868)		(3,809)		(59)	
経常損益	12,657	2.4	18,560	3.6	5,903	-
特別利益	6,763		14,914		8,151	
特別損失	8,081		18,278		10,197	
税金等調整前当期純損益	13,974	2.6	21,924	4.2	7,950	-
法人税等	5,411		7,392		1,981	
少数株主利益	839		810		29	
当期純損益	7,723	1.4	13,721	2.6	5,998	-

比較連結貸借対照表

(単位：百万円)

	16年度第3四半期末 (16年12月31日)		16年度上半期末 (16年9月30日)		増 減	15年度末 (16年3月31日)	
		構成比(%)		構成比(%)			構成比(%)
(資産の部)							
流動資産	439,755	49.3	411,076	48.3	28,679	451,682	49.8
現金及び預金	21,120		12,735		8,385	27,542	
受取手形及び売掛金	178,943		196,941		17,998	253,215	
棚卸資産	171,694		146,716		24,978	125,910	
その他	67,997		54,682		13,315	45,013	
固定資産	451,964	50.7	439,786	51.7	12,178	456,152	50.2
有形固定資産	152,273		154,775		2,502	153,810	
無形固定資産	7,591		7,604		13	7,335	
投資その他の資産	292,099		277,406		14,693	295,005	
繰延資産	110	0.0	148	0.0	38	225	0.0
資産合計	891,830	100.0	851,012	100.0	40,818	908,060	100.0
(負債の部)							
流動負債	497,401	55.8	469,508	55.2	27,893	487,702	53.7
支払手形及び買掛金	151,221		148,716		2,505	181,596	
短期借入金	96,230		95,014		1,216	90,988	
その他	249,950		225,777		24,173	215,117	
固定負債	205,362	23.0	196,921	23.1	8,441	220,090	24.3
負債合計	702,764	78.8	666,429	78.3	36,335	707,793	78.0
(少数株主持分)							
少数株主持分	7,483	0.8	7,682	0.9	199	8,491	0.9
(資本の部)							
資本金	47,586		47,586		-	47,586	
資本剰余金	46,711		46,711		0	46,710	
利益剰余金	59,054		63,364		4,310	71,172	
その他有価証券評価差額金	38,628		29,048		9,580	36,617	
為替換算調整勘定	3,619		3,050		569	3,573	
自己株式	6,779		6,760		19	6,737	
資本合計	181,582	20.4	176,899	20.8	4,683	191,774	21.1
負債、少数株主持分及び資本合計	891,830	100.0	851,012	100.0	40,818	908,060	100.0
金融債務残高	364,381	40.9	356,955	41.9	7,426	363,011	39.9

比較連結キャッシュ・フロー計算書

【第3四半期】

(単位：百万円)

	16年度第3四半期 (16年10月～16年12月)	15年度第3四半期 (15年10月～15年12月)	増 減
・営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前当期純損益	4,588	9,918	5,330
減価償却費	4,257	4,535	278
受取利息及び受取配当金	805	615	190
支払利息	720	684	36
売上債権の増減額	17,616	18,514	898
棚卸資産の増減額	25,287	16,193	9,094
仕入債務の増減額	3,077	7,580	4,503
前受金の増減額	11,262	1,937	9,325
その他	3,269	11,201	7,932
小計	2,982	4,678	7,660
利息及び配当金の受取額	825	639	186
利息の支払額	681	593	88
法人税等の支払額	3,039	4,342	1,303
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,165	290	6,455
・投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産、有価証券及び投資有価証券の取得による支出	2,892	4,479	1,587
有形固定資産、有価証券及び投資有価証券の売却による収入	2,189	742	1,447
その他	2,909	23	2,932
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,611	3,713	102
[+ フリー・キャッシュ・フロー]	[2,554]	[4,004]	[6,558]
・財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額	2,276	39,469	41,745
コマースパーパーの純増減額	4,500	48,000	43,500
長期借入れ	3,500	12,790	9,290
長期借入金の返済	2,484	7,168	4,684
その他	1,807	1,795	12
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,984	12,356	6,372
・現金及び現金同等物に係る換算差額	173	77	96
・現金及び現金同等物の増減額 (+ + +)	8,365	8,274	91
・現金及び現金同等物の期首残高	12,373	9,214	3,159
・連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	18	-	18
・現金及び現金同等物の期末残高	20,758	17,488	3,270

比較連結キャッシュ・フロー計算書

【9ヶ月累計】

(単位：百万円)

	16年度9ヶ月累計 (16年4月～16年12月)	15年度9ヶ月累計 (15年4月～15年12月)	増 減
・営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前当期純損益	13,974	21,924	7,950
減価償却費	12,497	13,364	867
受取利息及び受取配当金	2,060	1,588	472
支払利息	2,258	2,474	216
売上債権の増減額	74,157	74,373	216
棚卸資産の増減額	45,325	32,581	12,744
仕入債務の増減額	30,404	28,939	1,465
前受金の増減額	23,619	17,718	5,901
その他	11,217	14,238	3,021
小計	9,550	8,657	893
利息及び配当金の受取額	2,082	1,662	420
利息の支払額	2,207	2,403	196
法人税等の支払額	3,326	1,348	4,674
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,098	9,265	3,167
・投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産、有価証券及び投資有価証券の取得による支出	15,313	10,258	5,055
有形固定資産、有価証券及び投資有価証券の売却による収入	9,903	25,396	15,493
その他	3,733	927	4,660
投資活動によるキャッシュ・フロー	9,143	16,065	25,208
〔 + フリー・キャッシュ・フロー 〕	〔 3,045 〕	〔 25,331 〕	〔 28,376 〕
・財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額	5,644	33,048	27,404
コマーシャルペーパーの純増減額	9,200	14,500	5,300
長期借入れ及び社債の発行	4,948	46,160	41,212
長期借入金の返済及び社債の償還	8,368	46,427	38,059
その他	3,706	3,845	139
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,571	22,661	19,090
・現金及び現金同等物に係る換算差額	102	219	321
・現金及び現金同等物の増減額 (+ + +)	6,513	2,450	8,963
・現金及び現金同等物の期首残高	27,240	15,038	12,202
・連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	30	-	30
・現金及び現金同等物の期末残高	20,758	17,488	3,270

セグメント情報

【第3四半期】

(単位：百万円)

		16年度第3四半期		15年度第3四半期		前年同期比 (%)
		(16年10月～16年12月)	構成比(%)	(15年10月～15年12月)	構成比(%)	
部 門 別 売 上 高	電機システム	56,061	30	61,797	34	91
	機器・制御	43,161	23	41,421	22	104
	電子デバイス	36,303	20	33,681	18	108
	リテイルシステム	41,154	22	33,186	18	124
	その他	8,846	5	15,100	8	59
	小計	185,527	100	185,188	100	100
	消去	12,002	-	14,837	-	-
	合計	173,524	-	170,351	-	102
部 門 別 営 業 損 益	電機システム	7,941	-	9,031	-	-
	機器・制御	1,721	-	73	-	23.6倍
	電子デバイス	1,034	-	2,503	-	41
	リテイルシステム	717	-	1,576	-	-
	その他	68	-	105	-	-
	小計	4,399	100	8,135	100	-
	消去又は全社	194	-	403	-	-
	合計	4,594	-	8,539	-	-

セグメント情報

【9ヶ月累計】

(単位：百万円)

		16年度9ヶ月累計		15年度9ヶ月累計		前年同期比 (%)
		(16年4月～16年12月)	構成比(%)	(15年4月～15年12月)	構成比(%)	
部 門 別 売 上 高	電機システム	189,942	33	185,823	33	102
	機器・制御	131,831	23	119,361	22	110
	電子デバイス	106,922	18	95,711	17	112
	リテイルシステム	123,221	21	110,546	20	112
	その他	28,563	5	46,652	8	61
	小計	580,481	100	558,096	100	104
	消去	42,716	-	39,769	-	-
	合計	537,764	-	518,326	-	104
部 門 別 営 業 損 益	電機システム	24,377	-	25,006	-	-
	機器・制御	4,651	-	10	-	465.1倍
	電子デバイス	6,211	-	7,624	-	82
	リテイルシステム	3,572	-	346	-	10.3倍
	その他	702	-	869	-	81
	小計	9,238	100	16,155	100	-
	消去又は全社	1,329	-	423	-	-
	合計	10,568	-	16,579	-	-

平成16年度 第3四半期 連結決算補足説明資料

1. 決算概要

(単位：億円)

	平成16年度				平成15年度			
	第3四半期実績		通期予想		第3四半期		通期	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
売上高	1,735	101.9%	8,400	98.1%	1,703	101.6%	8,561	102.9%
営業利益	45	-	255	146.2%	85	-	174	135.2%
経常利益	49	-	205	147.2%	91	-	139	155.0%
当期純利益	25	-	80	145.0%	55	-	55	141.1%

2. 連結子会社数・持分法適用会社数

	平成16年度		平成15年度	
	第3四半期実績	通期予想	第3四半期	通期
連結子会社数	61	61	59	59
持分法適用会社数	2	2	-	1

3. 一株当たり当期純利益

	平成16年度		平成15年度	
	第3四半期実績	通期予想	第3四半期	通期
一株当たり当期純利益(円)	3.51	10.93	7.71	7.46

4. 平均為替レート (US\$)

	平成16年度		平成15年度	
	第3四半期実績	通期予想	第3四半期	通期
平均為替レート(円)	105.96	106.92	108.92	113.07

5. 部門別売上高

	平成16年度				平成15年度			
	第3四半期実績		通期予想		第3四半期		通期	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
電機システム	560	90.7%	3,780	93.8%	617	104.4%	4,031	105.2%
機器・制御	431	104.2%	1,760	104.7%	414	103.7%	1,680	105.1%
電子デバイス	363	107.8%	1,420	109.5%	336	106.1%	1,296	104.1%
リテイルシステム	411	124.0%	1,650	109.4%	331	98.5%	1,507	97.6%
その他	88	58.6%	450	59.4%	151	94.7%	757	99.5%
小計	1,855	100.2%	9,060	97.7%	1,851	102.6%	9,273	103.2%
消去	120	-	660	-	148	-	711	-
合計	1,735	101.9%	8,400	98.1%	1,703	101.6%	8,561	102.9%

(注) 各部門の売上高には、部門間の内部売上高を含めて表示しています。

6. 部門別営業利益

	平成16年度				平成15年度			
	第3四半期実績		通期予想		第3四半期		通期	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
電機システム	79	-	35	700.0%	90	-	5	-
機器・制御	17	23.6倍	70	294.4%	0	-	23	199.0%
電子デバイス	10	41.3%	90	92.0%	25	353.0%	97	135.5%
リテイルシステム	7	-	60	288.9%	15	-	20	80.0%
その他	0	-	15	64.4%	1	-	23	111.6%
小計	43	-	270	158.2%	81	-	170	132.1%
消去又は全社	1	-	15	-	4	-	3	-
合計	45	-	255	146.2%	85	-	174	135.2%

7. 研究開発費

	平成 16 年度				平成 15 年度			
	第3四半期実績		通期予想		第3四半期		通 期	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
電機システム	29	150.4%	93	90.0%	19	86.5%	103	114.8%
機器・制御	12	110.0%	37	83.2%	10	121.1%	45	160.4%
電子デバイス	27	131.1%	90	114.1%	21	105.2%	78	101.3%
リテイルシステム	14	134.0%	39	84.7%	10	141.8%	46	175.0%
その他	0	-	0	-	0	-	0	-
全社（基礎研究等）	4	-	16	151.2%	0	-	11	25.1%
合 計	88	140.6%	277	97.1%	62	98.3%	285	106.7%
対売上高比率（%）	5.1%	-	3.3%	-	3.7%	-	3.3%	-

8. 設備投資額、減価償却費

	平成 16 年度				平成 15 年度			
	第3四半期実績		通期予想		第3四半期		通 期	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
電機システム	7	39.4%	39	84.7%	17	266.2%	47	110.5%
機器・制御	6	123.9%	44	111.3%	5	70.6%	40	89.8%
電子デバイス	42	180.1%	266	189.4%	23	74.6%	140	78.9%
リテイルシステム	8	128.8%	35	129.1%	6	37.7%	27	49.2%
その他	5	180.4%	17	120.8%	2	70.2%	14	127.2%
全社（共通）	0	25.0%	2	-	0	-	0	-
設備投資額合計	69	123.9%	405	150.2%	55	83.6%	269	81.2%
内リース取得	47	139.3%	269	176.7%	33	89.7%	152	82.1%

（注）設備投資額は、有形固定資産への投資額とリース契約による取得額の合計値です。

減価償却費	37	92.0%	145	94.4%	40	59.1%	154	60.5%
支払リース料	44	-	178	130.3%	-	-	137	-

（注1）減価償却費は有形固定資産の減価償却費です。

（注2）支払リース料は生産設備の支払リース料です。

9. 期末従業員数（定期社員除く）

	平成 16 年度		平成 15 年度	
	第3四半期実績	通期予想	第3四半期	通 期
電機システム	10,488	10,264	10,611	10,535
機器・制御	4,971	4,972	5,111	5,119
電子デバイス	4,651	4,733	4,095	4,043
リテイルシステム	3,000	2,980	3,120	3,080
その他	1,655	1,662	2,144	1,686
本部（共通）	134	130	140	138
合 計	24,899	24,741	25,221	24,601